

令和7年11月
第5号

さいたま市教育委員会事務局 生涯学習振興課

学校のチカラでイキイキした地域づくり

コミュニティ・スクールでは、学校・家庭・地域が連携して、未来の創り手である子どもたちを支えています。コミュニティ・スクールの取組が、地域を元気にすることにつながった事例を紹介します。

南浦和中学校 中学生ボランティアが地域のWell-beingに貢献

南浦和中学校では、学校運営協議会の話し合いに参加した子どもたちから「地域のためにボランティア活動を活発にしたい」という提案がありました。

周知などを繰り返した結果、地域の神社の清掃やフリーマーケット、避難所運営訓練に中学生ボランティアが参加する意識が高まり、地域の方々と協力して活動しています。



小学生を指導する中学生ボランティア

中学生のボランティアは、親しみを込めて「中ボラ」という愛称で呼ばれています。地域住民の高齢化も進む中で、中学生が意欲をもって活躍してくれることは、とてもうれしく、心強いです。



地域住民

西原小学校 コミュニティルームを活用して地域と共にある学校づくり



紙芝居で子どもたちと交流

西原小学校の学校運営協議会では、コミュニティルームの運営に地域の大人が関わることができるかという話し合いを行いました。

その結果、この取組が地域住民と子どもたちの距離を近づけるのに有効であることがわかりました。また、自治会員同士の関わりも密接になり、協働活動にかかる人が増えたそうです。



地域住民

コミュニティルームでは、子どもたちに昔の遊びや地域の歴史を教える活動をしています。子どもたちを通じて学校への理解が深まるだけでなく、地域住民同士の新たなつながりも生まれています。

「コミ丸」の読者アンケートに御協力ください

より良い広報誌を発行することを目的として、アンケートを実施します。右の二次元バーコードからアンケートフォームにお進みください。

アンケートの回答は、1分程度で終了します。皆様の貴重なご意見をお聞かせください。



コミ丸第5号アンケート

PTAってどんな活動をしているの？

さいたま市優良PTAの活動を紹介

教育委員会では、優れた活動を行ったPTAを表彰しています。今回は、令和7年度さいたま市優良PTA受賞団体の中から、文部科学大臣表彰に推薦した2団体の取組を紹介します。

西浦和小学校PTA

PTA発の行事がつくる笑顔と学びの場

西浦和小学校のPTAでは、会員アンケートで、子どもたちが思い切り遊べる機会をつくってあげたいという意見が出ました。



幼稚園や家庭から譲り受けたプールを校庭に置いて、水遊びのイベントを開催しました。先生や保護者が子どもたちと一緒にになって楽しんだことで、それぞれの距離が近づいた気がします。



水遊びのイベント

小学生の子どもたちが楽しめるイベントを開催したいという思いから、PTAから中学校に生徒たちのボランティア参加を依頼したそうです。

専門の講師を招いて、保護者と教職員が一緒に学ぶ「性教育講座」を開催したこと、共通の理解のもと、子どもに接することができるようになりました。



PTA会長

大久保東小学校PTA

フェスティバル開催とデジタル化で深まる交流

大久保東小学校のPTAでは、地元企業や地域の団体を協働した「東っ子フェスティバル」を開催し、学校と家庭、地域の交流を深めています。



ハンドアート作品の制作

フェスティバルでは、地域で活躍するアーティストの協力で、巨大なハンドアートを作成しました。子どもたちも手形の配置や配色について意見を出しました。



PTA会長

また、IT企業に勤務する保護者の方などの協力で、PTAの事務や集金集計の作業のデジタル化を進めました。効率よく仕事ができるようになり、負担の軽減につながったそうです。



PTAの連絡や通知は、紙での配布をやめてデジタル化しました。アンケートの集計が簡単になるなど、作業時間やコストを大きく減らすことができました。

研究協力校 レポート②

与野西北小学校と八王子中学校は、9年間を見通した子どもたちのエージェンシーの育成を研究しています。

八王子中学校では、防災訓練に生徒たちが参加することで、地域防災に対して意識を高めています。また、与野西北小学校では、児童が制作したポスターで「ながら見守り」の活動を地域に周知しています。両校とも、「チャレンジupさいたま」を活用して楽しみながら活動しています。



防災訓練に参加する中学生